

利尻山の登山道保全にご協力ください

利尻山登山道等維持管理連絡協議会

1) 企画・募集段階

● 募集要項に利尻ルールを掲載してください

利尻ルールとは、当協議会が利尻登山のマナーとして呼びかけている地域ルールです。

利尻ルール

- ① 携帯トイレを使う
- ② ストックにキャップをつける
- ③ 植物の上に座らない、踏み込まない

● 「1パーティー最大14名まで」を推奨します

安全管理及び登山道保全、混雑緩和の観点から、利尻山でのツアー登山は、引率者1名に対して被引率者4～6名までの人数設定（1パーティー最大12名まで+引率者）で実施することを推奨します。（利尻山のコースグレードを、旅行業ツアー登山協議会設定の「コースグレード及びガイドレシオ参考表」の5相当とした場合）。

なお、体力や歩行ペースで班分けをして、時間差をつけて出発することも併せて推奨します。

2) 実施段階

● 利尻ルールを伝え、実践してください

利尻ルールをはじめとして、自然に与えるインパクトを最小限にする歩き方や休憩のしかたを、参加者に伝え、実践してください。

こんな時、こんなこと

行動中>>>

道のゆずり合いは数人ずつに分かれて広い場所で行う、ぬかるみを避けて脇道を歩かない、トイレは携帯トイレブースのある場所で済ませる

休憩時>>>

歩道をふさがない、植物の上に座らない、パーティーの人数に見合った広さの場所で休む、6.5合目トイレブースの周辺は狭いので利用者以外は6合目で休むようにする

● 混雑の緩和にご協力ください

山頂付近は、9時半から11時半までの時間帯に登山者が集中します。状況に応じて山頂での昼食休憩を自粛するなど混雑緩和にご協力ください。

また、すれ違いの際は、パーティーを数人ずつに分けるなど、他の登山者と声を掛け合って調整してください。

利尻ルールを呼びかける背景

～脆く、傷つきやすい山だからこそ～

利尻山の山頂付近には火山性の脆い地層が露出しており、登山利用の集中や降雨などの影響から、ここ十数年で急速に土壌侵食が進んでいます。当協議会では、毎年登山道の維持補修を続けていますが、一度傷つけた自然を修復することは容易ではありません。また、登山道の荒廃過程は、一回の登山だけでは変化が見えにくいものです。例えば休憩時の植生への座り込みなどは、登山者自身が知らず知らずのうちに荒廃を拡大させていることも多いのが現状です。そのため、当協議会では補修作業とともに登山マナーの普及などソフト面の対策も進めています。これには登山者の協力が欠かせません。

利尻ルールの普及を呼びかけることには、利尻山が脆く傷つきやすい山だからこそ、「利尻登山の経験を、自分の一歩が山に与える影響について考えるきっかけにして欲しい」という願いが込められています。



赤茶色に見える地層は、手で触れるだけで崩れるほど脆い。
左の写真では、ガレて歩きにくくなった場所を避けて歩く姿が見られます。

山頂付近の混雑状況と登山道の荒廃
(左) 1991年→(右) 2006年



当協議会では、登山道がこれ以上崩壊することを防ぐため、土留めを設置するなど、毎年登山道の補修作業を行っています。